

タイミングダイアグラム・フォーマットの国際標準 と

WaveFormer Pro

去る 6/15 - 17、米国サンフランシスコで開催された DAC '98 (Design Automation Conference) にて、SI2(Silicon Integration Initiative)により**タイミングダイアグラムの電子フォーマットの国際標準規格として、WaveFormer Pro のフォーマットをベースにした TDML (Timing Diagram Makeup Language) が発表されました。**

デジタル・コンポーネントの重要な仕様を表わすタイミング・ダイアグラムに国際標準がないため、今までは電気的な特性であるタイミング情報をフォーマットに直接含ませられず、画像情報(JPEG, GIF, PDF など)としてインターネットや CD-ROM のエレクトロニック・ワールド上での交換が行われて来ました。システム LSI、IP、高密度ボードの時代を迎え、今まで以上に効率のよいコンポーネント (IC、IP) のタイミング情報の交換の必要が望まれ、タイミング・ダイアグラム・フォーマットの国際標準化は、SI2 下の **ECIX**(Electronic Component Information eXchange) プロジェクトにおいて、一つの重要な標準化の項目とされました。約 2 年がかりで、SynaptiCAD 社をはじめとする、以下のメンバー会社の協力のもとに、「電子情報としてコンピュータで」取り扱いやすく、かつ「人間の読むドキュメントとして」も十分取り扱えるフォーマットを目標に標準化の作業が進められました。

TDML 標準化メンバー会社 (ABC 順)

Adbe, Aspect, Chronology, Denali, HP, Hitachi, IBM, Intel, Lucent Technologies, Motorola, National, Philips, QuestLink, SoftQuad, **SynaptiCAD**, TI

定まったフォーマット規格は -

- ・ 電気的な情報は **SynaptiCAD 社の WaveFormer Pro のフォーマットを踏襲**
- ・ 文字情報などの他の文法は **XML**(SGML の次世代)からとなっています。

- * 上記メンバー会社の中のデバイス・ベンダーや IP ベンダーの多くは近々、コンポーネント商品のタイミング仕様を TDML で配布することを計画しています。
- * SynaptiCAD 社は **TDML ビュアー**をネットや雑誌の付録を通して**無償配布**を始めます。
- * TDML ビュアーのWEB ブラウザのプラグイン化も検討されています。

WaveFormer Pro はタイミング記述の先進ツールとして、TDML の普及推進を支えて行きます。ご期待下さい。